

マツノマダラカミキリ後食防止剤

マツグリーン<sup>®</sup>液剤2

包装単位：1ℓ×12本、10ℓ×1缶

農林水産省登録 第20838号



■成分・性状  
商品名：マツグリーン液剤2  
種類名：アセタミプリド液剤  
有効成分：アセタミプリド…2.0%  
性状：無色澄明水溶性液体

■安全性  
1.人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないもの指していう通称）  
急性経口毒性  
ラット(♀) LD50>2,000mg/kg  
急性経皮毒性  
ラット(♂,♀)LD50>2,000mg/kg  
2.水産動植物に対する影響  
コイ LC50(96hr)=296mg/ℓ  
ミジンコ EC50(48hr)=918mg/ℓ  
藻類 ErC50(72hr)=584mg/ℓ

3.刺激性(原液)  
眼刺激性(ウサギ)：弱い刺激性あり  
皮膚刺激性(ウサギ)：刺激性なし  
4.感受性(モルモット)：皮膚感受性なし  
5.有用昆虫への影響  
ミツバチ・マルハナバチ：少ない  
ケナガカブリダニ：少ない  
6.鳥類に対する影響(ウズラ)：少ない  
急性経口毒性：LD50 180mg/kg(原体)  
混餌投与：LC50>5,000ppm(原体)

■適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
まつ(生立木)	マツカレハ	100~250倍	3ℓ/本 (樹高10m)	幼虫発生前から 幼虫発生期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	マツノマダラカミキリ成虫	60~100倍		成虫発生直前から 発生初期			
樹木類 (さくら、つつじ類、とちのき、プラタナス、 さんごじゅ、ひいらぎもくせい、 いぬまき、あじさいを除く)	ケムシ類、カイガラムシ類	250倍	3~4ℓ/10a	成虫発生初期および 発生最盛期直前	5回以内	無人航空機 による散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	アブラムシ類	500倍					
さくら	クビアカツヤカミキリ	200倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	ケムシ類、カイガラムシ類	250倍					
つつじ類	ツツジグンバイ、チュウレンジハバチ	500倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	アブラムシ類						
あじさい	コガネムシ類	250倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	ケムシ類、カイガラムシ類						
とちのき	トチノキヒメヨコバイ	250倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	アブラムシ類	500倍					
プラタナス	プラタナスグンバイ	250倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	ケムシ類、カイガラムシ類	250倍					
さんごじゅ	サンゴジュハムシ、アブラムシ類	500倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	ヘリグロテントウノミハムシ、アブラムシ類	500倍					
ひいらぎもくせい	ケムシ類、カイガラムシ類	250倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	キオビエダシャク	100~250倍					
いぬまき	アブラムシ類	500倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)
	アブラムシ類	500倍					
ばら	チュウレンジハバチ	500倍	100~300ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は 1回以内)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
樹木類 (さくら、プラタナスを除く)	カイガラムシ類	50倍	胸高直径20cm未満は800mℓ 20~30cm未満は1000~1200mℓ 30~40cm未満は1400~1600mℓ 40~50cm未満は2200~3400mℓ 50~60cm未満は3400~5200mℓ 60cm以上は直径4cm増すごとに 200mℓを順次増量する	春季~秋季	1回	樹幹注入	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	プラタナス		プラタナスグンバイ				
くり	カイガラムシ類	50倍	同上	春季~秋季但し 収穫50日前まで	1回	樹幹注入	3回以内 (樹幹注入は1回以内)
さくら	クビアカツヤカミキリ	200倍	同上	春季~秋季 発生初期	5回以内	食入孔に注入	5回以内 (樹幹注入は1回以内)

上手な使い方

- 1.本剤は無色透明のため、薬剤調製時には十分攪拌してご使用ください。
- 2.蚕に対しては長期間毒性があるので、桑に付着するおそれがある地域では使用しないでください。
- 3.本剤の10ℓ容器は金属缶のため、外から薬液が見えませんが、薬剤投入時は容器に薬剤が残らないよう注意してください。
- 4.本剤のマツノマダラカミキリ成虫に対する防除効果は、後食防止が主ですから樹幹部を中心に梢端部にも薬剤が十分付着するよう散布してください。(樹高10mで1本当り3ℓ散布)
- 5.マツノマダラカミキリ成虫の発生は地域により異なりますので、当該地域の発生時期を把握し適期に防除してください。
- 6.マツノマダラカミキリ成虫が長期間発生する地域や、激害地域では2回以上の散布がより効果的です。また散布区域外に被害林が隣接している場合は、冬季に被害木を伐倒し適切に処理してください。
- 7.降雨前後の薬剤散布は効力が劣るので、使用をさけてください。

▲安全使用上の注意

- 1.誤飲のないように注意してください。誤って飲み込んだ場合はうがいをし、直ちに医師の手当を受けさせてください。
  - 2.本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに流水で水洗いし、眼科医の手当を受けてください。
  - 3.使用の際は農業用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをするとともに洗眼してください。
  - 4.街路、公園等で使用する場合には、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
  - 5.水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管：密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。

▲本剤を使用するときは

- 1.ラベルをよく読んでください。
- 2.ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 3.本剤を小児の手の届く所に置かないでください。

マツグリーン<sup>®</sup>液剤2

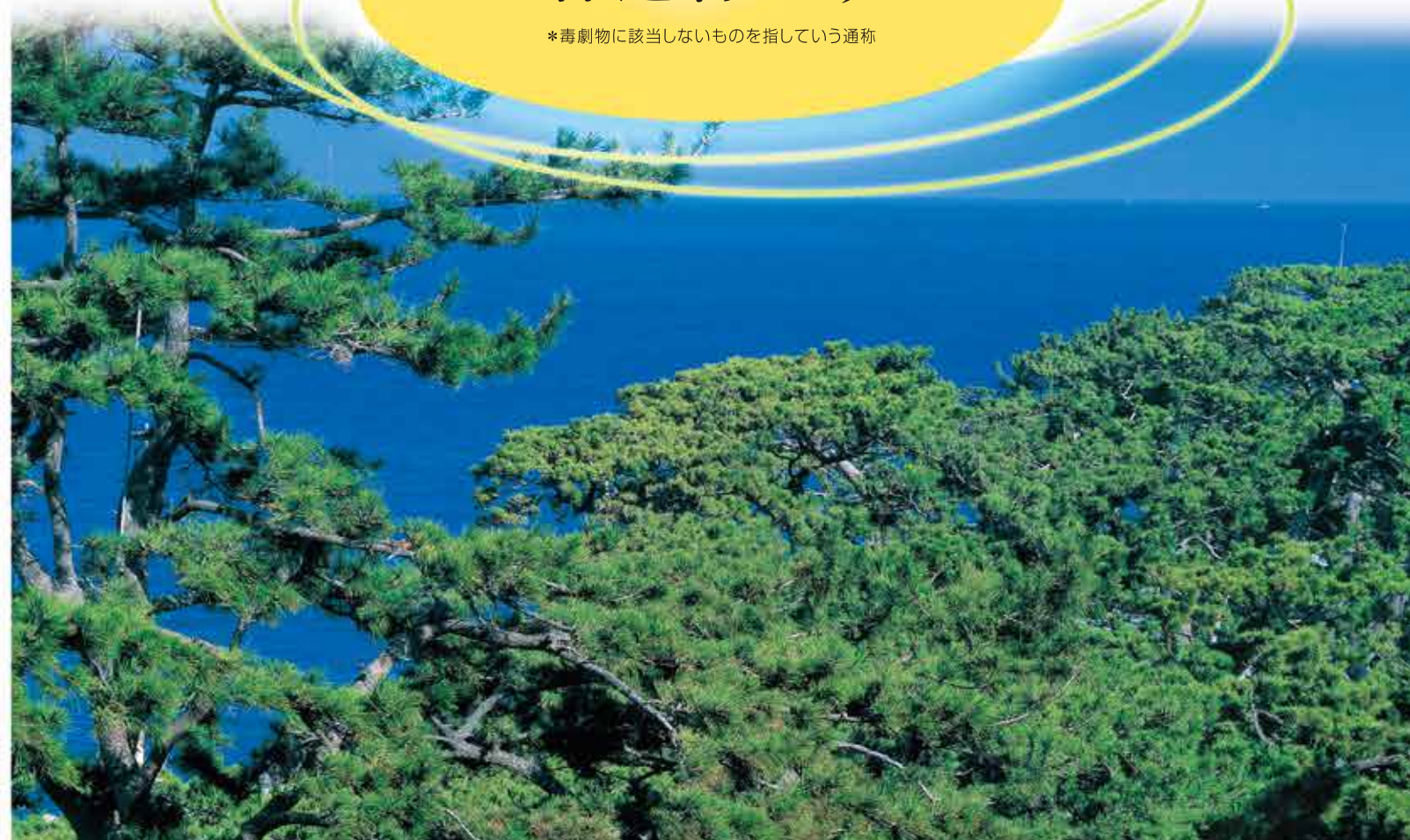
日本の松の緑を守ります!!

マツノマダラカミキリの後食防止剤

マツグリーン<sup>®</sup>液剤2

普通物\*です。

\*毒劇物に該当しないものを指していう通称



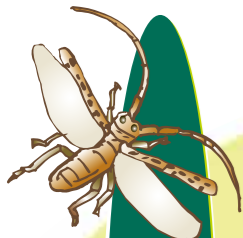
販売元 株式会社 ニッソーグリーン  
東京都台東区上野3丁目1番2号  
☎03-5816-4351 http://www.ns-green.com/

製造元 日本曹達株式会社  
〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

マツノマダラカミキリ後食防止剤

# マツグリーン<sup>®</sup>液剤2

**普通物で使いやすい!!**  
**低薬量で、マツノマダラカミキリ成虫に**  
**優れた効果!!**



特長

## 1 新しい効きめで、マツノマダラカミキリ成虫と樹木害虫に優れた効果。

現行の有機リン剤と比べ20分の1以下の低薬量で優れた防除効果を発揮する、新しい作用(ネオニコチノイド系)の殺虫剤です。また、つじ・つばき等の樹木害虫にも優れた効果を発揮します。

## 2 新枝への浸達性があり、耐雨性にも優れる。

浸達性に優れ、しかも樹皮や樹内で安定し、耐雨性にも優れるため、効果が長期間持続します。

## 3 人や環境に悪影響が少ない。

人畜毒性:普通物の薬剤で、散布液の有効成分も低濃度のため、人や環境に悪影響の少ない薬剤です。

## 4 臭いや汚れがほとんどない。

散布後のいやな臭いや汚れがほとんどなく、薬液飛散による車の塗装や、墓石の変色・汚染がほとんどありません。

■車の塗装、墓石汚染試験(処理4日後)

薬剤	スーパーホワイト塗装	墓石
マツグリーン液剤2	25倍	10倍
A乳剤	180倍	180倍

## 5 薬液の調製が容易。

使いやすい液剤タイプで、100倍希釈(1,000ℓタンク当たり薬量10ℓ)のため、調製が容易です。

## 6 環境中への残留が少ない。

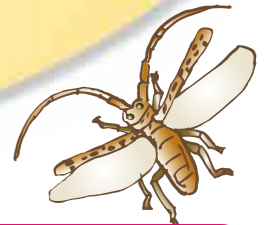
本剤は蒸気圧が低いため(1.0×10<sup>-6</sup>Pa)散布したマツから大気への移行がほとんどなく、また土壌中や河川水中では微生物などによって速やかに分解されるため、土壌・水系汚染の可能性が少ない薬剤です。

## 7 ハチや鳥類・水産動物等への安全性が高い。

ミツバチ・マルハナバチ、天敵のケナガカブリダニへの影響が少なく、また通常の使用法では鳥類やコイ・ニジマス・ミジンコ・クルマエビ・カキ等への影響が少ない薬剤です。(ただし、蚕には長期間の毒性があります)

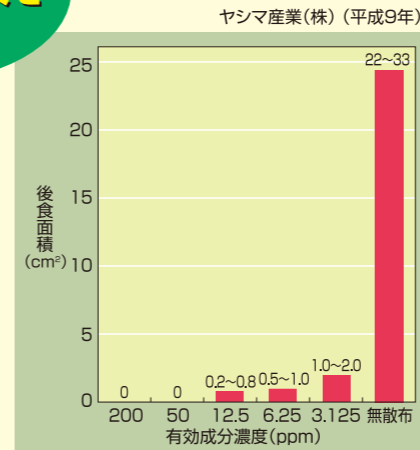
## 8 周辺作物に薬害の心配がほとんどない。

ひのきなどの樹木や、野菜・果樹等の農作物に、薬害の心配がほとんどありません。



### 低濃度でも後食阻害効果を発揮!

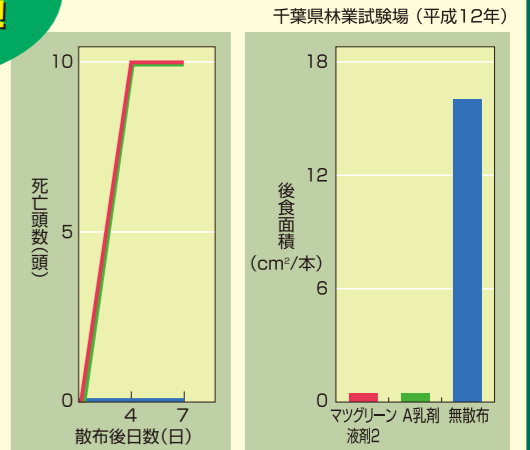
アカマツ2年生枝を薬液に1秒間浸漬処理し、風乾後各区にマツノマダラカミキリ成虫20頭を供試。



### 後食防止効果が、長期間持続!

5年生クロマツに所定濃度の薬液を散布し、8週間後に葉を除去した2年生枝を採取。枝とマツノマダラカミキリ成虫1頭を容器に入れ、7日間飼育。

マツグリーン液剤2 100倍  
 A乳剤 180倍  
 無散布

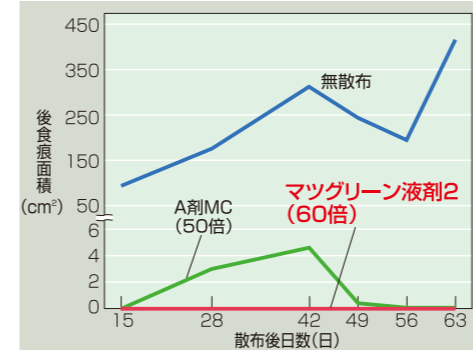


## マツグリーン液剤2の1回散布で、8週間程度の残効が認められています。

### ■マツノマダラカミキリへの防除効果(林分モデル試験)

千葉県森林研究センター(平成14年)

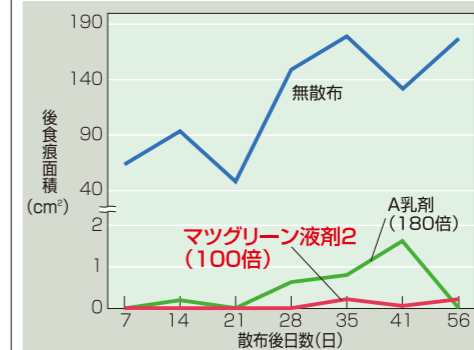
- 品 種:クロマツ(5年生)
- 発生状況:6/5にマツグリーン液剤区に4頭、無散布区に5頭放虫し、6/13にマツグリーン液剤区と無散布区へ各5頭、A剤MC区に4頭放虫。6/20,26,7/3,10,17,24,31,8/7に各区5頭放虫。
- 散 布:6/5



摘要:マツグリーン液剤2の60倍液は、散布後63日間でA剤MCの50倍液と同程度の効果があることが明らかとなった。後食痕個所数と後食痕面積ともに薬剤間の差はほとんどなかったが、無散布区との間に顕著な差が認められた。

千葉県林業試験場(平成12年)

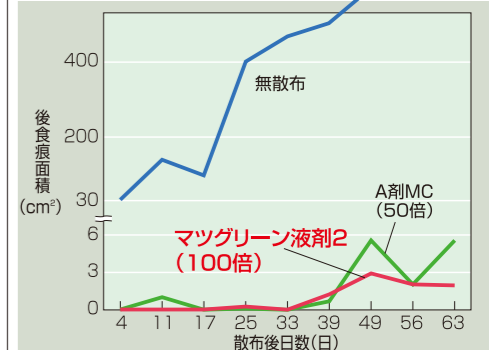
- 品 種:クロマツ(5年生)
- 発生状況:処理区は6/8,15,22,29,7/6,13,19,27,8/3に、各5頭放虫。7/13以降、5頭未満となった場合に不足分を放虫。
- 散 布:6/8



摘要:マツグリーン液剤2の100倍液は、散布後56日間でA乳剤と同程度の効果があると認められた。後食個所・後食面積に薬剤間の差がほとんどなく、無散布区との間に格段の差が認められた。

福岡県森林・林業技術センター(平成12年)

- 品 種:クロマツ(7年生)
- 発生状況:5/29,6/5,12,19,26,7/3,10,17,24に各5頭放虫。
- 散 布:5/29



摘要:マツグリーン液剤2の100倍液は、A剤MC50倍と同等またはそれ以上のマツノマダラカミキリに対する後食予防効果がある。

### ■マツグリーン液剤2の上手な使い方

松枯れ防止には散布適期を逃さず、散布むらのないよう十分量散布することが重要です。

#### 1

#### 薬液の調製

60倍希釈液または100倍希釈液を調製します。

#### 2

#### 散布方法

梢端部に散布もれないよう、ノズルを上に向けて散布します。



#### 3

#### 散布時期

散布適期を逃がさずに散布します。

#### マツノマダラカミキリ成虫の発生前または発生初期

マツノマダラカミキリ成虫の多発が予想される場合は、成虫発生最盛期直前にもう一度散布すると、さらに効果的です。